

インターネットを加速する

世界のすみずみに張り巡らされたインターネット
 今や、何をすることも欠かすことができない
 だからこそ、「より速く」、「より簡単に」、「より安全に」、
 そして「より安価」に使いたい
 世界が認めた国産技術がその要望に応えます

社名	株式会社Skeed (設立) 2005年4月26日
拠点	本店: 東京都目黒区目黒一丁目6-17 Daiwa目黒スクエア5F 徳島サテライトオフィス: 徳島県海部郡美波町奥河内字弁財天139-16
資本金	100,000,000円
経営陣	代表取締役CEO 田財 英喜 / 取締役CINO 北林 巧巳 / 取締役(非常勤) 小林 正明 取締役(非常勤) 森 辰康
主要株主	SCSK株式会社
事業内容	クラウド・ビッグデータ・IoT対応のネットワーク・データ管理ソフトウェア製品・ ソリューションの企画・開発・設計・マーケティング・販売・保守
保有特許	日本特許第4403124号 「提供情報管理システム」 日本特許第5152940号 米国特許US 9,590,912 B2 欧州特許EP2753027 「バルクデータを効率的に転送するためのデータ転送方法」 日本特許第5724154号 欧州特許EP3012742 「データ配信システム、データ配信のためのデータ通信装置およびプログラム」 日本特許第6742777号 「自動負荷分散情報処理システム」

【2013 RedHerring Top 100 Global受賞】

2013年11月20日、RedHerring社主催の「Red Herring Global Forum」において、北米、欧州およびアジア全域における、成長の可能性と潜在力、革新性が最も高い上位100社に贈られる「2013 Red Herring Top 100 Global」を受賞。過去には、Google、Yahoo、Salesforce.com、YouTube、eBayも受賞。ベンチャー企業の権威ある登竜門的位置づけ。



【MCPC award 2018 特別賞受賞】

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)が主催するMCPC awardでは、モバイルソリューション、IoT/AIシステムの更なる普及促進を企図し毎年著しい成果を挙げた事例を顕彰。Skeedは独自のIoTソリューションである「P2P 自律分散処理基盤 SkeedOz」が高く評価されサービス&ソリューション部門の特別賞を受賞。



ご提供する各種プロダクト

高速ファイル転送



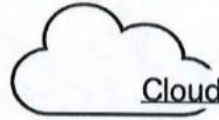
SkeedSilverBullet
 大容量、多数ファイルをTCPの最大70倍以上で高速転送するソフトウェア製品
 FTP代替から拠点間のグローバル連携まで導入実績も豊富



SkeedFileMessenger
 メールにファイル添付するのと同様の手軽さで、ブラウザ操作のみで完結
 専用クライアントソフトも不要

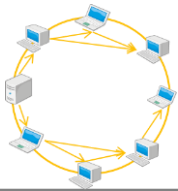


SkeedSync
 通常のインターネット回線を使い、簡単、安全に遠隔地とすばやく高速ファイルを同期する



SkeedFileMessenger
 サーバ不要、クライアントPCへの専用ソフトのインストールも不要。
 Skeedが運用するクラウド基盤でセキュアで高速なファイル転送サービス

日米欧で特許取得した帯域制御技術をベースに、遠距離間やインターネット回線の低品質な地域でも高速かつ安全・確実に大容量ファイルを転送。業務効率を各段に高め、諦めていた長時間に及ぶ転送作業、手間とコストを他の業務に振り分ける事ができます。

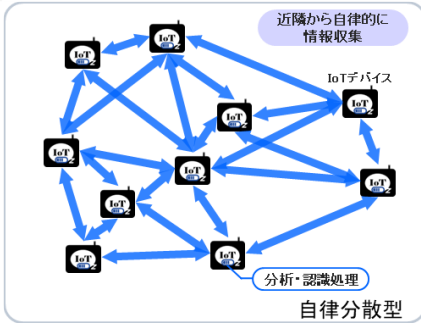


SkeedDelivery
 多拠点・多店舗に効率的かつ高速に一齐配信するソフトウェア。配信元の回線速度やサーバ増強コストを抑え、驚異的なスピードで大容量ファイルをPush配信



SkeedCast
 多拠点・インターネットやWAN越しに多数のユーザやデバイスにファイルを配信するソフトウェア。ピークトラフィックのオフロードを独自の自律分散技術で実現

独自の自律分散ネットワーク技術により、配信対象となる拠点やデバイス間を複数接続（マルチパス）し、一齐配信を実現。刻々と変化するネットワーク状況に応じて、デバイス間や拠点間の通信経路を動的に切り替えて常に最適な通信経路を制御します。



Skeed独自の自律分散技術により、大量データをクラウドなどに集約することなく、末端のIoTデバイスが自律的に流通・蓄積・処理するIoT基盤ソフトウェア

— 主な特長（3つのゼロを実現） —

ゼロ ダウンタイム	ゼロ マージナルコスト	ゼロ コンフィグレーション
自律分散による 止まらない通信網	サーバや通信、運用 など付帯コストを抑制	キャリア契約、 設定作業が不要

膨大なIoTデバイスから発信される情報流通に求められる3つのゼロ（ゼロ・ダウンタイム、ゼロ・マージナルコスト、ゼロ・コンフィグレーション）を独自のP2P自律分散技術により実現。エッジコンピューティングを支える基盤ソフトウェアとして、産業界、さらに社会・地域課題の解消に貢献します。

Skeed Ozの活用が期待されるユースケース

<p>街中に設置された中継器</p> <p>要介護老人・子ども</p> <p>BLEタグ</p> <p>すれ違うスマートフォン</p> <p>実際に行方不明になる老人4万人/年</p>	<p>気象/災害予防</p> <p>気象情報 地殻変動 火山・洪水</p>	<p>自転車・自動車</p> <p>所在確認/盗難防止</p>	<p>観光/商業施設</p> <p>人の流れ/混雑状況</p>
---	--	--	--

自律分散配信

自律分散型情報流通基盤